




製品ラインナップ

型 式	CAP-0320G40-GE	CAP-0550G40-GE
CO ₂ 供給量	～0.45kg/h	～1.5kg/h
施用面積(イチゴ局所施用)	3a	10a
最大電流	19A	31A
寸 法(L×W×H) ※1	740×847×1344mm	854×847×1595mm
重 量	220kg	310kg
電 源 ※2	AC200V×3φ×50/60Hz	

※1) 寸法は取っ手やダクト取付部分などを除く。

※2) 電源電圧許容公差は±5%。1次配電側へは高周波・サージ対応型の漏電遮断器の使用を推奨。

ランニングコスト比較表

	C-SAVE Green®	燃焼方式	ボンベ式
			
ランニングコスト	13万円	15万円	59万円
ハウス内温度上昇	なし	あり	なし
メンテナンス	年1回の定期点検	燃料補給	ボンベ交換
原料由来	大気	化石燃料	化石燃料

2024年度の実際の値を元に算出

灯油代 : 120円/L
電気代 : 25円/kWh
ボンベ代 : 300円/kg

C-SAVE Green®とボンベ式は
1日8時間、12～5月(6ヵ月)の運転

燃焼方式は
1日5時間、12～3月(4ヵ月)の運転

ハウス栽培向け
大気中二酸化炭素(CO₂)濃縮・供給装置

C-SAVE Green®

第50回
(令和6年度)
発明大賞
東京都知事賞
受賞

収量増加

高設いちご栽培での
実証試験で確認

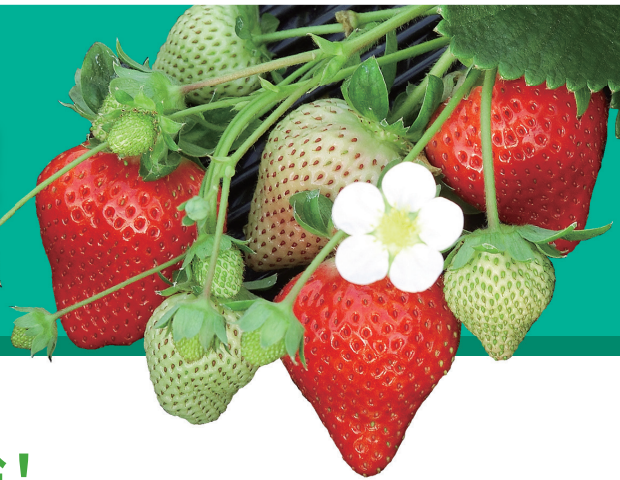
環境配慮

化石燃料を使わず
常温で安全かつクリーンな
CO₂ガス供給

手間なし

原料は大気のため
燃料補給やガス交換不要
カンタン設置

濃縮CO₂を吸収させると
収穫量 約27%UP!
→約2年半で投資回収可能!!



燃料不要! ボンベ不要!
空気中のCO₂を集めてハウスへ供給!



いちご以外の作物でも実証試験先を募集しています。

試験的な装置導入・他作物への適用に
ご興味ある方はご相談ください。

小型試験機(電源:単相100V、15A以内)で、小区画での試験も可能です。



お問い合わせは
こちらから

導入事例 アグリスグループ「越谷いちごみらい園」

燃料不要、大気中のCO₂を集めて作物に供給するC-SAVE Green®
—— 西部技研の独自技術がカーボンニュートラルな農業に貢献



マイナビ農業
詳細記事

 SEIBU GIKEN

連絡先 sales@seibu-giken.co.jp



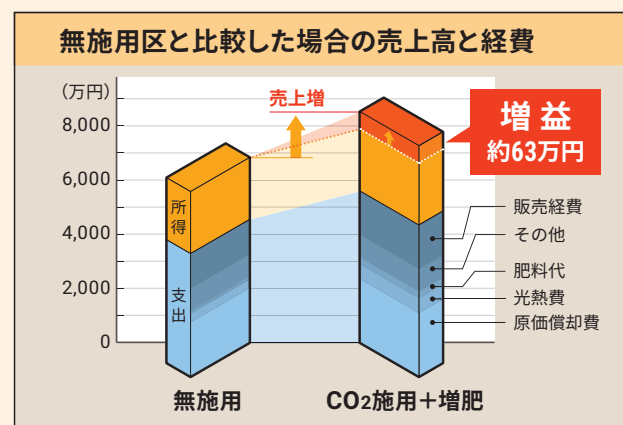
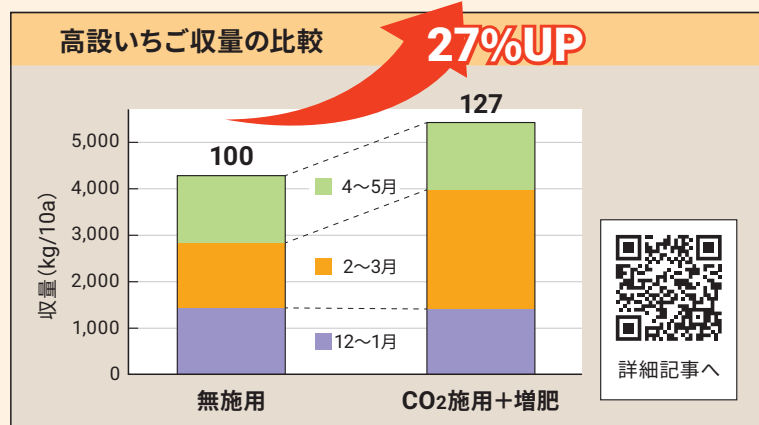
ホームページは
こちらから

 SEIBU GIKEN

収量増加

福岡県農林業総合試験場と共同で
高設いちごによる実証試験をおこない
収量増加が確認できました

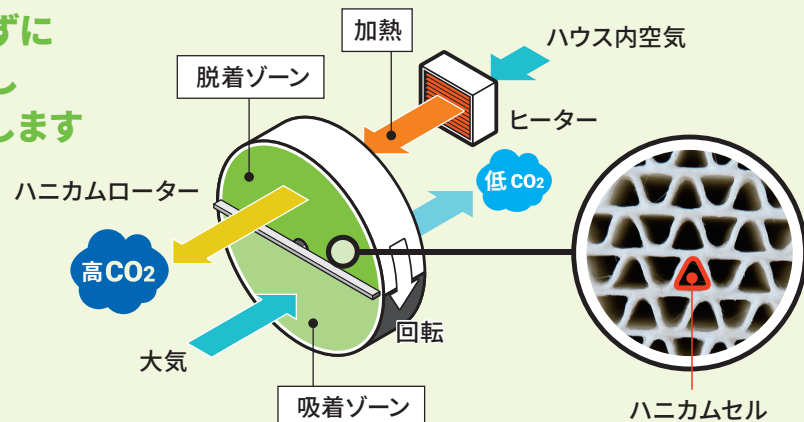
C-SAVE Green®でのCO₂施用+増肥と無施用の収量を比較したところ、
1シーズン(6か月間)で**約27%の収量増**が確認できました。
また ①**約2年半**で投資回収可能 ②減価償却で考えても**約63万円**の増益が確認できています。



環境配慮

化学燃料を一切つかわずに
収量増加の効果を発揮し
環境負荷の低減に寄与します

大気中のCO₂を吸着し、低温で脱着する吸着材を自社開発し、独自技術でハニカムローターに加工しています。
このローターにより、大気中のCO₂を集めてハウスへ供給することができます。
必要なのは電気のみで、化石燃料を一切使いません。

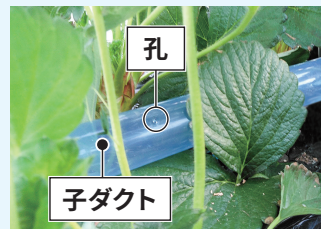


C-SAVE Green®の基本構造

手間なし

設置もカンタン
メンテナンスコストも低く
手間もかかりません

- ・取っ手が付いて、キャスター移動もラクに
- ・化石燃料を使わず、交換の手間も不要に
- ・ハウス内と同等温度なのでそのまま局所施用が可能



局所施用ダクト

栽培列数、長さで必要部材をお見積りいたします。
(ダクト設置マニュアルでサポート)

安心の 保守・ メンテナンス

メンテナンス

- フィルタや各機器の無償点検をおこないます。
- 供給CO₂濃度を確認し、安定した効果のためにローターのメンテナンス・交換が必要かをお知らせします。

故障予防、迅速な トラブルシューティング

- 1年目は装置内センサーで稼働状況を遠隔監視して、装置の異常を事前に察知します。
- 2年目以降は定期的にセンサーログを確認します。

実績報告として、装置状況・灯油削減量などの脱炭素量を共有

運転方式

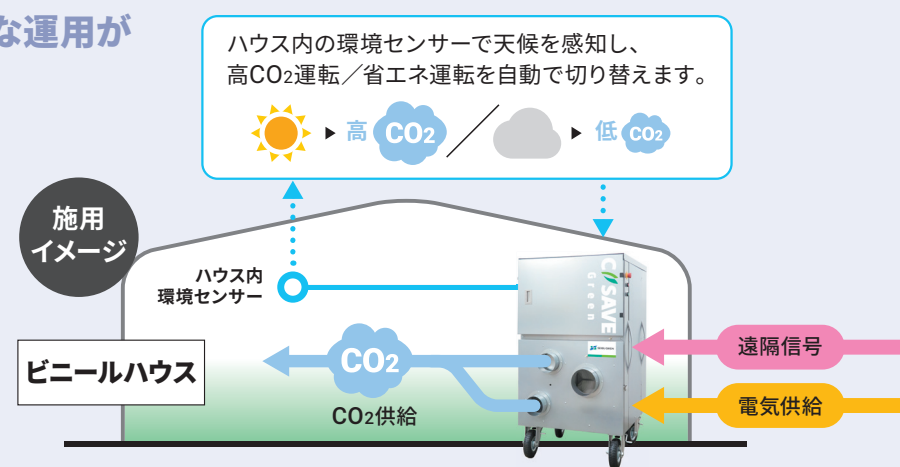
自動運転でより効率的な運用が可能になります

1 タイマー運転 & 自動濃度制御

2 遠隔運転

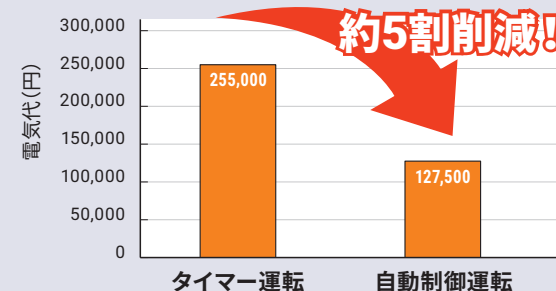
別システムからの出力信号で運転
自動濃度制御も可能

3 手動運転



電気代比較

電気代: 25円/kWh



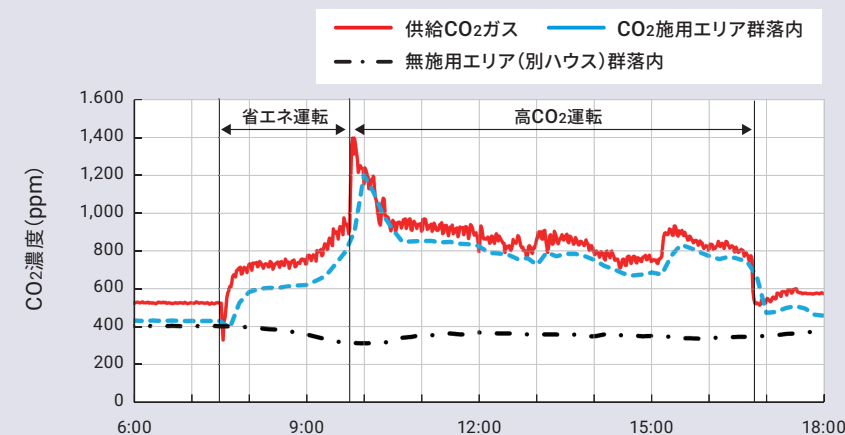
自動濃度制御により電気代削減

生育環境の状況変化による、いちごの光合成量に合わせた最適なCO₂濃度になるように、自動制御で供給することを可能にしました。
実際に導入いただいた千葉の高設いちご施設ではタイマー運転に比べて実際の電気代が**約5割**抑えられているという結果が得られました。

ハウス内空気の +200~300ppmを施用可能

供給されるCO₂は常温であるため、冷やすことなく局所施用が可能です。
群落内のCO₂濃度を高く保つことができ、効率よくCO₂を供給できます。

高設いちご群落内のCO₂濃度推移



C-SAVE
Green®